

# 書写における「動作」の重要性などについて

上越教育大学大学院 准教授  
押木 秀樹

教育の視点としての a.社会から求められるもの b.伸ばしたい子どもたちの力

a. 「書くことの文化」を伝えたい！

↑  
どういったものか？

- ・ 古典の名跡
- ・ 著名な書家の書
- ...
- ・ 1億人が書けるということ

文化の視点

- ・ 書かれたもの
- ・ 書くという動作

## ◎ 動作の美しさ 動作の文化

※こわいのは、手書き風の字形がへることなのか？

b. 「もっと書きたい！」子どもたちを育てるために

- ・ 毛筆で書きたい！
- ・ ワークシートに書きたい！
- ・ 作文を書きたい！
- ・ ノート大好き！
- ・ 手紙を書きたい！！
- ・ 日記を書きたい。
- ・ 観察記録を書きたい！
- ・ メモを取りたい！

×  
たくさん書くと手が痛い。  
くたびれる、。

○  
いい字だとうれしい！  
すらすら書ける。  
書くことが気持ちいい！

急いで書くとき、  
ゆっくり書くとき  
(即時性の認識など  
場面や相手意識)

良いフォームで  
書ける  
(持ち方・姿勢を動作で考える。)

きれいな動作！  
やさしい動作  
(点画の種類、点画のつながり、筆圧)

空中での  
動きも大切だ！  
(筆順の意味を動作で考える。)

気持ちよく使える  
グッズ  
(実用で。楽しく。勉強のため。)

何を書きたい？ 「字を書きたい！ ことばを書きたい！ 文を書きたい！ …」  
文字群 の段階へ そして 次へ

### (参考) 「書きやすく」書くためのポイント

- ・ 持ち方を適切に (適度な握圧で)  
→良い運動は良いフォームから
- ・ 筆圧の変化を抑える→手にやさしく
- ・ 上下の運動を減らす・なめらかな上下動→手にやさしく
- ・ 速度の差を減らす→急加速を避け、手にやさしく
- ・ 運動のパターン化→難しい動きを減らし簡単に書ける
- ・ 水平運動と上下運動を同時におこなう意味 (はね・払い・筆脈の連続)
- ・ 水平の運動量の現象→動かす量が減れば、速く楽に書けるはず。(装飾的要素を減らす=点画の変化・筆順の変化等  
・ 直接連続・省略)

※冗長と欠落 ※Z・+とラケットの動作

### (参考文献/押木研究室関連)

- <http://www.shosha.kokugo.juen.ac.jp/oshiki/2009dousa/>
- ・ 書字における冗長と欠落に関する試論
  - ・ 書字における書きやすさの重要性と書字動作に関する基礎的研究
  - ・ 中学生を対象とした書きやすく速く書く力を育成する実践的研究
  - ・ 国語科書写教育のための筆順に関する調査とコンピュータ解析
  - ・ 書写書道教育の課題としての手の動き・身体・パラランゲージ
  - ・ 望ましい筆記具の持ち方とその合理性および検証方法について
  - ・ SYSTEMATIZATION OF THE STROKE ORDER OF CHINESE CHARACTERS FOR FOREIGN STUDENTS  
(海外における”in air”への着目例)
  - ・ Sara ROSENBLUM, Shula PARUSH and Patrice L. WEIS, Temporal Measures of Poor and Proficient Hand writers, IGS2001